

ガンビア

2020 年 8 月 26 日ドラフト作成

| | |
|---|----|
| 1. 一般情報..... | 1 |
| (1) 地理・人口等..... | 1 |
| (2) 内政..... | 2 |
| 2. 人権状況..... | 3 |
| 3. 関連する政治組織等、政治活動／政府批判（労働運動含む）の取扱い..... | 3 |
| (1) ジャメ元大統領と APRC（愛国再建同盟）..... | 3 |
| (2) 旧政権の職員等の状況..... | 6 |
| (3) ジャングレー、APRC 幹部の状況..... | 7 |
| 4. ジェンダー、DV および子ども..... | 7 |
| (1) 女性..... | 7 |
| (2) FGM/C..... | 9 |
| 5. LGBT..... | 11 |
| 6. 汚職、非国家主体による犯罪、国家による被害者の保護..... | 11 |
| (3) Jungler..... | 11 |
| 7. 兵役、強制徴集（非国家主体の）..... | 11 |
| 8. 司法制度・刑事手続..... | 11 |
| (1) 司法制度..... | 11 |
| 9. 警察・治安部隊（刑務所等の状況含む）..... | 11 |
| (1) 国軍..... | 11 |
| (2) 刑務所..... | 12 |
| 10. 報道の自由..... | 12 |
| 11. 宗教の自由..... | 12 |
| 12. 国籍、民族および人種..... | 12 |
| 13. 出入国および移動の自由..... | 13 |
| (3) 国内避難の選択可能性..... | 13 |
| 14. その他..... | 13 |
| (4) 魔女狩り..... | 13 |
| 略称..... | 15 |

1. 一般情報

(1) 地理・人口等

ア 外務省「[ガンビア基礎データ](#)」(2020 年 4 月 27 日)

- | | | |
|---|----|--------------------------------|
| 1 | 面積 | 11,300 平方キロメートル (ほぼ岐阜県の面積) |
| 2 | 人口 | 約 228 万人 (2018 年 : 世銀) |
| 3 | 首都 | バンジュール (Banjul) |
| 4 | 民族 | マンディンゴ, フラ, ウォロフ, ジョラ, セラフリ等 |
| 5 | 言語 | 英語 (公用語), マンディンゴ語, ウォロフ語, フラ語等 |
| 6 | 宗教 | イスラム教 (90%), キリスト教・伝統宗教 (10%) |

イ EASO「[EASO COI レポート : ガンビア 国別フォーカス](#)」(2017 年 12 月)
【法務省入管局仮訳】

- 1.3.1 民族 ガンビアにおける最も重要な民族は、以下の通りである。
- ・マンディンカ (Mandinka) (マンディンゴ (Mandingo)、メンデ (Mende)、マリ
ンカ (Malinke) としても知られており、ジャハンカ (Jahanka) を含む)、2013 年
時点のガンビア総人口 (非ガンビア人を除く) の約 34%を占める
 - ・フーラ (Fula) (フルベフラニ (Fulbe Filani)、ペウル (Peul)としても知られてお
り、チュクルー (Tukulur)、ロロボ (Lorobo) を含む)、ガンビア総人口の約 24.1%
を占める。
 - ・ウォロフ (Wolof 又は Wollof)、ガンビア総人口の約 14.8%を占める。
 - ・ジョラ (Jola) (ディオラ (Diora) としても知られており、カロニンカ (Karoninka)
を含む)、ガンビア総人口の約 10.5%を占める
 - ・セラフーリ (Serahuli) (セラフーレ (Serahule)、サラコーレ (Serakole) 及びソ
ニンケ (Soninke) としても知られている)、ガンビア総人口の約 8.2%を占める。
 - ・セラー (Serer) (又はセレーレ (Serere))、ガンビア総人口の約 3.1%を占める
 - ・マンジャゴ (Manjago) (マンジャック (Manjack) として知られる)、ガンビア
総人口の約 1.9%を占める
 - ・バンバラ (Bambara)、ガンビア総人口の約 1.3%を占める
 - ・アク (Alku)、ガンビア総人口の約 0.5%を占める

(2) 内政

ア 外務省「[ガンビア基礎データ](#)」(2020 年 4 月 27 日)

- | | | |
|---|----|--|
| 5 | 内政 | <p>1994 年 7 月, ジャメ中尉を中心とするガンビア兵は, 1970 年に共和制への移行以来 安定した内政により長期政権を維持してきたジャワラ大統領 (当時) を無血クーデタ ーで追放し, 軍事政権を樹立, 同中尉が大統領に就任した。新政権による 2 年間の民 主化移行期間を経て, 1996 年 9 月の大統領選挙の実施によりジャメ候補が当選, さら</p> |
|---|----|--|

に、1997 年 1 月に国民議会選挙が実施され、国民議会の召集により民政移管を完了し、国際社会との関係を改善した。

2016 年 12 月に行われた大統領選挙において、野党統一候補のアダマ・バロウ氏が新大統領に選出された。ジャメ大統領は当初、敗北した結果を受け入れると表明したが、同年 12 月 9 日に一転して選挙のやり直しを求め、バロウ新大統領への政権移行を拒否したため、ECOWAS（西アフリカ諸国経済共同体）加盟国を中心に首脳レベルの調停が行われた。ジャメ大統領の任期が切れた 2017 年 1 月 19 日、バロウ氏は、滞在中のセネガルのガンビア大使館で大統領就任式を行った。同年 1 月 21 日、ジャメ大統領は ECOWAS 加盟国等及びモーリタニアが主導する調停を受け入れ、ガンビアを出国した。同年 1 月 26 日、バロウ大統領がガンビアに帰国。同年 4 月 6 日、ガンビア国民議会選挙が行われ、統一民主党（UDP）が 31 議席を獲得し与党第一党となった。

2020 年 1 月、バロウ大統領は自身が過去に所属していた UDP との関係悪化を背景として、新党（国民党）を立ち上げた。

2. 人権状況

3. 関連する政治組織等、政治活動／政府批判（労働運動含む）の取扱い

(1) ジャメ元大統領と APRC（愛国再建同盟）

ア ●記事「[Gambia: Thousands march for ex-ruler Yahya Jammeh's return](#)」DW
(2020 年 1 月 16 日)

Yahya Jammeh supporters in Gambia gathered on the outskirts of the capital, Banjul, on Thursday carrying banners, placards and photographs of the former president, who ruled from 1994 until January 2017 when he fled into exile.

The protesters from the Alliance for Patriotic Reorientation and Construction party (APRC) demanded that regional and international bodies honor an agreement allowing Jammeh, who is in exile in Equatorial Guinea, to return.

...

During his 22-year rule, Jammeh violently purged dissent, making widespread use of detention, torture, rape and state-ordered killings to intimidate and silence journalists, student leaders, and opposition politicians.

The chairperson of the Gambia Center for Victims of Human Rights Violations called Thursday's demonstration by APRC supporters "a slap in the face of Yayha Jammeh's victims."

It is totally unacceptable as the APRC continue to be in denial of all the atrocities committed by Jammeh and his cohorts," Sheriff Kijera told DW from Banjul.

...

In addition, not only has Barrow failed to tackle corruption, he is also seen as cozying up to former members of Jammeh's party, said Gambian human rights activist Madi Jobarteh.

イ [EASO「EASO COI レポート：ガンビア 国別フォーカス」](#) (2017 年 12 月)
【法務省入管局仮訳】

1.6.3 ヤヒヤ・ジャメ (YahyaJammeh) 前大統領

ヤヒヤ・ジャメは、1965 年に生まれ、ガンビア川下流地方のカニライ村で育った。同氏は、ジョラ民族の出身で、3 回結婚している。ジャメは戦闘員で、ガンビア国家憲兵隊 (GNG) 及びガンビア国軍 (GNA) の士官を務めた。ジャメは、1994 年 7 月 22 日に、無血クーデターにより政権を掌握し、軍事暫定統治評議会の議長を 2 年間務めた。ジャメは、1996 年に、選挙で大統領に選出された。この選挙は、自由と公正からは程遠いものとみなされた。ジャメは、2001 年、2006 年及び 2011 年に再選を果たした。ジャメは、1996 年の創設以来、所属政党の、愛国再建同盟 (APRC) の党首を務めた。

ジャメは、大統領選挙で敗北し、政治及び憲政の危機をもたらした後、2017 年 1 月 21 日に亡命した。ジャメの亡命先となった赤道ギアナは、国際刑事裁判所ローマ規程の締約国ではないため、ジャメが人道に対する又はその他の重罪で告訴されることになる場合でも、この国は同氏の身柄を引き渡す義務を課せられない。これにもかかわらず、新政府は、引渡し要請の可能性を思案している。

| 略称 | 政党名 | 党首 (政権交代前) | 党の色 | 党のシンボル |
|------|--------|---|-----|-----------|
| APRC | 愛国再建同盟 | 政権交代前：ヤヒメ・ジャメ 政権交代後：ファバカリー・トンボン・ジャッタ | 緑 | 黒い背景にヤシの木 |

2.12 ジャメの支持者

2017 年 4 月に行われた議会選挙を挟んで、バロウの所属政党、UDP の支持者と APRC の支持者が衝突する事件が複数件発生した。APRC の新党首、ファバカリー・トンボン・ジャッタは、同同盟の多数の支持者が何度も嫌がらせを受けたり逮捕されたりしたと不服を申し立てた。内務省は、ジャッタが申し立てた逮捕事案は、武器又は武力が行使された時だけに行われたと回答した。

ウ ●IRBC [「クエリー回答 \[GMB105841.E\] : APRC メンバーの取扱い」](#) (2017 年

7 月 31 日)

Media sources report that, according to the APRC, 51 APRC supporters were arrested on 19 February 2017 in Kafenda village (The Daily Observer 20 Feb. 2017; Reuters 20 Feb. 2017), "a Jammeh stronghold" (Reuters 20 Feb. 2017). The Reuters article further reports that, according to police, the APRC supporters were arrested for "insulting" supporters of the newly elected leader Adama Barrow who were returning from Barrow's inauguration celebration (Reuters 20 Feb. 2017)....

...

An April 2017 article from The Daily Observer quotes the police's Public Relations Officer as stating that "it is reported that jubilant fans of APRC in their numbers attack[ed] by chanting abusive and foul languages towards the opponents to an extent of stoning in the compounds believe[d] to [belong] to UDP supporters" (The Daily Observer 10 Apr. 2017). The same source quotes Modou Camara as stating that the APRC supporters started celebrating on 6 April 2017 and that the UDP supporters "blocked the way" the APRC supporters were using (The Daily Observer 10 Apr. 2017). Camara further stated that he reported the matter to the police and was told to continue the celebration (The Daily Observer 10 Apr. 2017). The article reports that, according to Camara, the APRC supporters took to the street again on 7 April 2017 to celebrate Camara's victory, and the UDP supporters again blocked the way they were using, which led to the conflict (The Daily Observer 10 Apr. 2017). Corroborating information could not be found among the sources consulted by the Research Directorate within the time constraints of this Response.

According to sources, the 24 APRC supporters were charged with "assault causing actual bodily harm, prohibition of conduct conducive to the breach of the peace contrary to Section 9 of the Public Order Act and [wilful] damage to property," while the two UDP supporters were charged with "criminal trespass and prohibition of conduct conducive to the breach of the peace contrary to Section 9 of the Public Order Act" (The Point 10 Apr. 2017; The Daily Observer 10 Apr. 2017).

...

The same article indicates that, according to an APRC militant, an opposition supporter was arrested by police officers over audio and video recordings he sent through WhatsApp "regarding an uproar in his southwestern region" (SMBC News 12 June 2017). The police are reportedly searching for a second man who was sending "reports" through the same platform (SMBC News 12 June 2017). Corroborating information could not be found among the sources consulted by the Research Directorate within the time constraints of this Response.

エ ●記事 [「2 APRC Supporters Arrested, Police PRO Explains」](#) The FATU Network
(2017 年 10 月 18 日)

Two men Gibril Badjie and Ansu Badjie, supporters of former President, Yahya Jammeh’s Alliance For Patriotic Reorientation and Construction Party (APRC) have been arrested by the police and are currently under custody at the Police Headquarters in Banjul.

Gibril was arrested in Brikama while Ansu was arrested in Sabi village, Upper River Region. Their arrest is in connection with a WhatsApp group they created called ‘One Voice’ on which they record and share voice messages around.

Assistant Superintendent Foday Conta, Police PRO told The Fatu Network that the two men were involved in a conduct that can tantamount to incitement of violence.

...

オ 英国内務省「[出身国情報報告 ガンビア \(仮訳\)](#)」(2013 年 11 月 5 日)

5.04 この米国国務省の報告書では、次のように付記されている。「[ジャメ (Jammeh)大統領の所属政党である]APRC は国民議会における 48 議席の内 43 議席を保有し、政治情勢を厳しく抑え続け続けた。APRC 党员には、政府取引の促進や、特定文書への入手が可能になり、雇用契約が確保されるなどの利点を与えられていた。」33(セクション 3)

(2) 旧政権の職員等の状況

ア EASO「[EASO COI レポート：ガンビア 国別フォーカス](#)」(2017 年 12 月)
【法務省入管局仮訳】

2. 旧職員の状況

前政権の職員に関連して新政権がこれまで講じてきた措置を見ると、事例ごとに進行するための、過去の司法調査に向けた慎重を期すアプローチを採用する傾向がわかる。しかし、依然として、訴訟は未決状態であるため、評価するのは時期尚早である。

...

2.6 精鋭部隊 (国防軍及び大統領親衛隊)

2017 年 5 月に、以下の大統領親衛隊の隊員が起訴された。マリク・マンガ (MalickManga)、ヌハ・パドジェ (NuhaBadgie)、スレイマン・サンボー (SulaymanSambou)、モモドゥ・ジャノレジュ少佐 (MajorMomodou Jarju)、ムスタファ・サネ (MustaphaSanneh) 及びミカエル・ジャッタ (MichaelJatta)。司法省は、上記の個人を、トゥマニ・ジャロウ及びアブドウリエ・ゲイエの殺害への関与で告発した。ジャロウ及びゲイエは、ジャメの政党事務所の職員であったが、2016 年 12 月の大統領選挙でジャメが敗れた後、行方不明になった。殺害されたと見られている。

2.7 国家情報局

これまでに逮捕された NIA の職員は 9 人に上る。パンジュール治安判事裁判所は、2017 年 3 月に、9 人に有罪判決を言い渡した。最高幹部 2 人は、NIA の最高幹部、ヤンクパ・パドジェ事務局長及びシーク・オマー・ジェング、運営部長で、あった。

...

(3) ジャングラ、APRC 幹部の状況

ア EASO 「[EASO COI レポート：ガンビア 国別フォーカス](#)」(2017 年 12 月) 【法務省入管局仮訳】

2.10 ジャングラ

ジャングラは、ジャメに同行して赤道ギニアに亡命した者もいれば、行き先がわかっていない者もいる。2017 年 5 月に、2004 年に発生したデイダ・ハイダーラの殺害に関連して、サナ・マンジャング (Sanna Manjang) 及びカウス・カマラ (Kawsu Camara) (別称、爆撃手) に対する逮捕令状が交付された (セクション 3.1、報道の自由を参照)。サナ・マンジャングは、他の殺人罪でも告発されている。

警察の情報によれば、2017 年 5 月に、軍警察の職員であったジャヤグラ 9 人を拘禁したということである。現在、複数人の強制失踪、拷問及び殺人に関連する犯罪捜査が行われている。被拘禁者の身元に関する公式発表は行われなかった。伝えられるところによれば、拘禁されたのは、ムサ・ジョンソン (Musa Johnson)、パ・サネ (PaSanneh)、イズメイラ・ジャメ Osmaila Jammeh)、オマル・アリアス・オヤ・ジャロウ (Omar Alias O ya Jallow)、アマドウ・パドジェ (Amadou Badjie) 及びマリク・ジャッタ (Malick Jatta) であるとし、うことである。上記の個人は、協力的な態度を示し、捜査官を被害者の遺棄現場に案内したということである。このジャングラは、2017 年 7 月時点で、出廷していなかった。

2.11 APRC の役人

ヤンクバ・コレイ

カニフィング市議会の市長。APRC の広報担当者として知られ、同性愛を公然と糾弾することでも有名。(セクション 3.3、ゲイ、レズビアン、同性愛者及び性同一性障害 (LGBT) の人々を参照)。解任要求に反して、市議会の市長の職位に留任。

ファパカリー・トンボン・ジャッタ

2017 年の議会選挙を控えた最後の定期会合まで国民議会の議長を務める。ジャメの亡命以降、暫定指導者を務める。

APRC の非合法化に向けた新政府の計画は、記録されていない。

4. ジェンダー、DV および子ども

(1) 女性

イ 米国国務省「[人権状況報告 2019 年 - ガンビア](#)」(2020 年 3 月 11 日)

Significant human rights issues included: harsh and potentially life-threatening prison conditions; lack of accountability in cases involving violence against girls and women, including rape and widespread female genital mutilation/cutting (FGM/C); trafficking in persons; and criminalization of consensual same-sex sexual conduct between adults, although the law was not enforced.

...

WOMEN

Rape and Domestic Violence: The law criminalizes the rape of individuals—without reference to gender—and domestic violence. The penalty for conviction of rape is life imprisonment. The maximum penalty for conviction of attempted rape is seven years' imprisonment. Spousal rape was widespread and not illegal; police generally considered it a domestic issue outside its jurisdiction. Rape and domestic violence were widespread problems that often went unreported due to victims' fear of reprisal, unequal power relationships, stigma, discrimination, and pressure from family and friends not to report abuses. Conviction of domestic violence carries a fine of up to 50,000 dalasi (D) (\$998), two years' imprisonment, or both.

On July 4, women marched under the social media hashtag #IamToufah as part of the country's #MeToo movement to demonstrate solidarity with Fatou Toufah Jallow—a young woman who went public with sexual assault and rape allegations against former president Jammeh—and to raise public awareness of the prevalence of sexual violence in Gambian society. In October Jallow was among several women who testified at the TRRC regarding Jammeh-era sexual abuse and gender-based violence.

...

Discrimination: The constitution and law provide for equality of all persons, including with regard to race, color, language, religion, political or other opinion, national or social origin, and birth. The law prohibits discrimination in employment, access to credit, owning and managing a business, or in housing or education. Nevertheless, the law does not provide for the same legal status and rights for women regarding adoption, marriage, divorce, burial, and inheritance of property. During the year there were no reports the government failed to enforce the law effectively.

...

D. DISCRIMINATION WITH RESPECT TO EMPLOYMENT AND OCCUPATION

...

Employment in the formal sector was open to women at the same salary rates as men, and no statutory discrimination existed in other kinds of employment; however, societal discrimination lingered, and women generally worked in such low-wage pursuits as food vending and subsistence farming. The law also prohibits discrimination in private companies certified by the Department of Labor.

ウ ●英国内務省「[国別政策及び情報ノート - ガンビア：女性器切除 \(FGM\)](#)」
refworld (2016 年 12 月)

5.1.2 An International Journal of Women's Health report from April 2016 noted: 'As a manifestation of gender inequality, FGM/C is deeply entrenched in social, economic, and political structures and must be understood within a context marked by strong gender discrimination that seriously affects the rights of girls and women, and that influences a low Human Development Index position (155 out of 177). Despite being granted equal rights as men under the national constitution, women in The Gambia confront a discriminatory family code (customary and Sharia law regulating marriage, widow inheritance, polygamy, divorce, child custody, and women's rights to inheritance), restrictions on resources and assets (discriminatory practices in access to land, financial services, and employment), and restrictions on physical integrity (FGM/C and domestic violence remaining widespread problems together with inaccessible and insufficient maternal health care services).' 4

(2) FGM/C

① 法制度的な枠組み

エ ●EASO「[COI レポート：ガンビア 国別フォーカス](#)」(2017 年 12 月)

Female Genital Mutilation/Cutting (FGM/C) has been banned in The Gambia since December 2015. (563) Any person who, despite the ban, carries out, requests, incites or promotes mutilation or cutting or provides tools for the procedure will be punished by imprisonment for up to three years and/or a fine of 50,000 dalasi (around EUR 1,000). Any person who knows about mutilation or cutting and fails to report the banned procedure must pay 10,000 dalasi. The sentence for anybody who carries out mutilation or cutting which results in the death of the girl concerned is life imprisonment. (564)

② 法制度の実践

オ ●EASO「[COI レポート：ガンビア 国別フォーカス](#)」(2017 年 12 月)

Despite the ban, it should prove difficult to eliminate the practice in The Gambia soon because FGM/C is deeply embedded in the Gambian society. (565) There is also a significant lacuna which can be used to bypass the Act: the text of the Act does not explicitly ban cutting which takes place in another country (especially in nearby Senegal). (566)

...

Two cases of FGM/C practices were reported between January 2016 and June 2017. In the first case, in which a young child died, the court at Mansakonko charged the mother and grandmother. In the second case, the girl's grandfather and a circumciser were arrested but

were released on bail. Judgment is pending in both cases. (576) The human rights organisation Asylum Research Consultancy (ARC) stated that although it could be considered a success that two cases had been brought to court just a few months after the ban on FGM/C, far more evidence has to be gathered to actually convict the perpetrators, and more resources (financial and human) have to be allocated to the competent authorities. (577) Other organisations or researchers believe that two cases is too low a number and see this as proof that the relevant state authorities are only implementing the law half-heartedly. (578)

③ 年齢別・地域別・民族別の状況

カ ●IRBC「[クエリー回答 \[GMB106103.FE\] : 女性器切除 \(FGM\) の慣習 ; 同慣習に反対する人々や NGO の取扱い ; 同慣習の被害者および同慣習に反対する者に与えられる国家保護 \(2016 年~2018 年 5 月\)](#)」(2018 年 5 月 18 日)

The United Nations Population Fund (UNFPA) reports in January 2018 that the percentage of females aged 15 to 49 who have undergone FGM went from 78.3 percent in 2005-2006 to 76.3 percent in 2010, and then to 74.9 percent in 2013, while that of girls ages 15 to 19 went from 79.9 percent in 2005-2006 to 77.1 percent in 2010, and then to 76.3 percent in 2013 [1] (UN Jan. 2018, 106).

A study on the changes and trends among health care professionals, published in International Journal of Women's Health, states the following: "[t]here is ample evidence that FGM/C [female genital mutilation/cutting] is closely tied to ethnic affiliation, which seems to be the most decisive factor for its prevalence" (Kaplan et al. 12 Apr. 2016, 104). The data from the Multiple Indicator Cluster Survey (MICS) of 2010, published by the Gambia Bureau of Statistics and UNICEF, reports the following prevalence rates among women aged 15 to 49 based on the ethnic group to which the head of household belongs: Serahule [Sarahule] (97.8 percent), Mandinka/Jahanka (96.7 percent), Bambara (92.1 percent), Fula/Tukulor/Lorobo (87.3 percent), Djola/Karoninka (87 percent), Serer (43 percent), Wolof (12.4 percent), Creole/Aku Marabou (25 percent) and Manjago (18.1 percent) (The Gambia and UN June 2012, 164).

キ ●EASO「[COI レポート : ガンビア 国別フォーカス](#)」(2017 年 12 月)

According to the Gambian Demographic and Health Survey 2013, 75% of all women between the ages of 15 and 49 had been cut in some way. In women above 15, the prevalence of FGM/C varies little by age group. (567) Statistics show that cutting is done during childhood, with 55% of women reporting that they were circumcised before the age 5, and 28% who were cut between age 5 and 9. Another 7% said they were circumcised between the ages of 10 to 14. (568) In 2010, 42.4% of girls under 15 had undergone some sort of

FGM/C. (569)

The survey shows that FGM/C is more common in rural (79% of women aged 15-49) than in urban areas (72%). The prevalence was highest in Basse (97%) and Mansakonko (94%) and lowest in Banjul (47%). (570) The main interventions involved cutting and removal of flesh, which correspond to FGM type 1 and 2 according the World Health Organization typology. (571) Cutting is generally performed by a traditional circumciser. (572) An older survey (2010) revealed significant differences between different ethnic groups. Rates were highest among the Mandinka (96.7%) and Serahule (97.8%); for Wolof the rate was 12.4%. (573) There have been accusations against the new President Barrow, claiming that some of his supporters are involved in illicit FGM/C practices and regard the ban primarily as the previous president’s law. (574) Barrow has promised his full support for implementation of the FGM/C ban. (575)

5. LGBT

6. 汚職、非国家主体による犯罪、国家による被害者の保護

(3) Jungler

7. 兵役、強制徴集（非国家主体の）

8. 司法制度・刑事手続

(1) 司法制度

ア EASO 「[EASO COI レポート：ガンビア 国別フォーカス](#)」 (2017 年 12 月)
[【法務省入管局仮訳】](#)

司法行政には、政府によって制定された法律（憲法、制定法）、関連する裁判所の判決（英国の判例）、慣習法及び、イスラム法（シャリーア）等の、複数の法的根拠が存在する。

イスラム教徒に関連する家庭問題（婚姻、離婚、相続）に携わるシャリーア法廷（カディス法廷）及び地方裁判所（地区審判所）では、イスラム法が使われる。シャリーア及び慣習法は、地方裁判所（地区裁判所）及び村評議会による審理に適用される。慣習法は、氏族及び土地紛争に重要な役割を果たす。

9. 警察・治安部隊（刑務所等の状況含む）

(1) 国軍

ア EASO 「[EASO COI レポート：ガンビア 国別フォーカス](#)」 (2017 年 12 月)
[【法務省入管局仮訳】](#)

1.9.1 ガンビア国軍（GAF）ガンビアには徴兵制度はない。男性も女性も、18 歳になると、志願して入隊することを許される。憲法に従って、GAF は、陸軍—ガンビア国家軍（GNA）—海軍及び空軍で構成される。国軍の各部門は、それ

ぞれ独自の司令官を擁する。ガンビア野戦軍及び、ガンビア国家憲兵隊（GNG）等の旧組織は、解散された又は、新体制に移管された。ガンビア国軍は、国防相／大統領に対する責任を負う。ジャメ前大統領は、憲法の下に資格を付与されるガンビア国軍の最高司令官の職に加え、国防相にも就任した。パロウ大統領は、現在も、国防相を務める。GNA は、総兵力およそ 1,000 人から 2,500 人と推定される。GNA は、2 個の歩兵大隊、1 個の工兵隊及び大統領親衛隊 1 個に分割されている。軍事基地は、パンジューノレ国際空港近傍のユンダムにある。その他の軍事基地は、ファジャラ、ユンダン、クダン、フアラフ

(2) 刑務所

ア EASO 「EASO COI レポート：ガンビア 国別フォーカス」（2017 年 12 月） 【法務省入管局仮訳】

公立刑務所は、以下の 3 つである。

- ・パンジュールにあるマイル第 2 中央刑務所。この刑務所の 2015 年の定員は 450 人で、収監者数は 817 人で、あった。特別施設には、ガンビアで唯一の女性刑務所棟及び、保安棟が組み込まれている。長期服役囚は、マイル第 2 中央刑務所に収容され、死刑囚は、マイル第 2 中央刑務所の保安棟に収監される。

- ・パンジュールにあるジェ、シュワン刑務所。この刑務所の 2015 年の公式定員は 150 人で、収監者数は 201 人であった。特別施設は、少年棟である。

- ・ジャンジャンブレア／ジョージタウンにある刑務所。この刑務所の 2015 年の公式定員は 50 人で、収監者数は 88 人であった。

上記 3 箇所の公営刑務所に加え、警察署の多くも、刑務所又は監房を備えている。人権擁護団体から入手した情報によれば、ジャメ政権では、刑務所は、法的根拠もなく、国家麻薬取締局（NDEA）及び、国家情報局（NIA）によって運営されていた（セクション 1.9.3、国家情報局を参照）。

10. 報道の自由

11. 宗教の自由

12. 国籍、民族および人種

ア EASO 「EASO COI レポート：ガンビア 国別フォーカス」（2017 年 12 月） 【法務省入管局仮訳】

1.3.1 民族 ガンビアにおける最も重要な民族は、以下の通りである。

...

パロウ大統領は、マンディンカ族という最も大きな民族のメンバーである。前大統領のジャメは、ジョラの出身である。多くのガンビア人は、混合された民族の起源を持っている。

イ 英国内務省「[出身国情報報告 ガンビア \(仮訳\)](#)」(2013 年 11 月 5 日)

民族間の関係

9.03 ガンビアにおける事業を促進するための日付けなしのオンライン情報源である Gambia.com では、2013 年 8 月 23 日に閲覧したところ、次のように述べられていた。

「ガンビアでは 9 つの主要な民族集団が部族間の不和をほとんど起こすこと無く隣合わせで生活をしており、それぞれが自民族の言語や音楽、文化的な伝統、又は鑄造システムさえも保有しているが、文化の相互交流や融合の度合いは増大している。この部族とは、マンディンゴ族(Mandinka)、ウォロフ族(Wolof)、フルラ族(Fula)、ジョラ族(Jola)、Serehulae 族、Serreher 族、アク族(Aku)、レバノン人、及びモーリタニア人である。他民族的な表現は増加しているが、各民族によるそのアイデンティティを再確認しようという探求は続いている。全体として、これらの民族がセネガンビア(Senegambia)社会の一面を表している。

「しかしながら、何世紀にもわたって移民や民族間の結婚が広がったことで、人々を血や民族性でもって分類することはますます難しくなっている。」 71

9.04 Freedom House による「Freedom in the World 2013」報告書(2012 年対象、2013 年 5 月発表)では、「ガンビアの多様な民族集団は比較的調和して共存しているが、ジャメ(Jammeh)が軍及び政府において自身の属するジョラ(Jola)民族の者に対して優遇措置をとっているという非難があがっている。」72(Political Rights and Civil Liberties)

13. 出入国および移動の自由

(3) 国内避難の選択可能性

ウ ●英国内務省「[国別政策及び情報ノート - ガンビア：女性器切除 \(FGM\)](#)」refworld (2016 年 12 月)

2.5 Internal relocation

2.5.1 The Upper Tribunal in K and others found that as a general matter, a person at real risk of FGM in her home area is unlikely to be able to avail herself of internal relocation. Cogent reasons need to be given for a finding that the individual would be able to relocate safely, especially given the evidence that ethnic groups are thoroughly interspersed, the country is small and ethnic groups in different parts of the country are highly interconnected (para 128).

14. その他

(4) 魔女狩り

エ ●EASO「[COI レポート：ガンビア 国別フォーカス](#)」(2017 年 12 月)

3.6 Witchcraft

Following the death of an aunt in 2009, Jammeh brought in professional witch-hunters from Mali and Guinea who would allegedly identify those responsible. (587) Hundreds were thrown into prison, ill-treated and forced to drink hallucinogenic substances. Two people are said to have died.⁵⁸⁸ It is thought that the Green Boys played a significant role in the witch-hunt (see Section 1.9.4 Junglers, Black Boys, Green Boys). In 2016 Jammeh is said to have used witchhunters again against alleged magicians. (589)

When Barrow was in exile in Senegal for a short time during the constitutional crisis, his son Habibu was bitten to death by a dog. There were rumours that Jammeh was behind it and that witchcraft was involved. Barrow did not respond to these rumours and so far has not publicly addressed witchcraft as an issue during his administration. (590)

略称

| | |
|----------|----------------------------------|
| AI | アムネスティ・インターナショナル |
| CGRS | ベルギー難民及び無国籍者庁 |
| CIA | 米国中央情報局 |
| CRS | 米国議会調査局 |
| DFAT | オーストラリア外務貿易省 |
| EASO | 欧州難民支援局 |
| HRW | ヒューマン・ライツ・ウォッチ |
| IDMC | 国内避難民監視センター |
| IRBC | カナダ移民難民局 |
| IRDC | アイルランド難民ドキュメンテーションセンター |
| Landinfo | ノルウェー政府出身国情報センター |
| MRGI | マイノリティ・ライツ・グループ・インターナショナル |
| OHCHR | 国連人権高等弁務官事務所 |
| OSAC | 米国海外安全保障評議会 |
| UNHCR | 国連難民高等弁務官事務所 |
| USCIRF | 米国連邦政府国際宗教自由に関する委員会 |
| WRGI | World Rights Group Internationa; |